

【学生の感想】 金森先生講演(2012.10.3)

※一部抜粋

埼玉大学

今回の講演会を聞いて、一番驚いたことは、アフリカの地域では「おいしい」という言葉がないことだ。異なる国によつて、文化や言葉は様々であることは知っていましたが、「おいしい」という言葉がないということとはとても衝撃的だった。また、高学年の小学生や中学生が家やキャリガなどに乗せて荷車のようなものを作ってしるうことには驚きました。もし私が中学生の時に作れといわれれば作ることは出来ないと思います。まず、どうやって作ったらいいのか想像することが出来ないです。文字の読み書きができていても、生きるとのために考え、行動できる力があることのほうが、これから生きていくには、より必要なのではないかと思います。日本の子ども達には、その力がどこも不足していると思います。技術科の授業が子ども達に考

えを力と養えるような授業を展開したいと思います。

埼玉大学

金森先生の講演はいつもの教育関係の講演と違っていた。ただ教育を教えるのではなく、アフリカやカンボジアに行った体験を折り混ぜながら、グローバルな視点から教育を教えてくれた。日本人としての価値観で見ただけでは分からない教育を知ることができた。また、アフリカやカンボジアの現状について、さらに知ることができ、世界の遠いところを再認識できた。また、人との比較は自分の人生に意味はないという言葉がとても印象的だった。よく人と比較する傾向があり、そのことで一喜一憂することがとても多い。しかし金森先生の言っていた「自分の人生は自分の力でしかない」という言葉で、これからはなるべく比較しないで、自分のやりたい事、やるべき事を考え、自分を見つめ直していきたいと思った。

社会・文化の違いに伴い必要な教育は様々なものになると改めて感じた。その教育は社会が求めるものであると同時に子ども達も求めるものでなければならぬ。子ども達も求める教育とはなにか。自分が受けたから教育や今まで受けて良かったと思つた教育(学校など)の経験を取り返し、これのイメージを基に最終的には具現化する。これが今後の目標であると思つた。目標を達成するためには、金森教授がこれまでおっしゃっていたように、自分を知り自己を確立しなければならぬと述べている。自分を認めることで自分の能力を最大限に活用でき、自分を精進していることで他人を、そして子どもを色々な見方で見えて感じられる。これは他の価値観の理解・多文化理解という荒木教授の教授職入門で学んだことにも通ずる。結論、私自身が多くの自身の経験が必要があると再確認した。

金森先生の話を聞きアフリカやカンボジアの子ども達、生活、文化、風習について初めて知った事が沢山あった。まず、アフリカの部族間について「ニュースでクワ族などによる紛争についてしか知らなかった。しかし、金森さんの話を聞き、一つの集落に5つもの部族が入っているのに、一緒に話をしたり」と思っていたよりも争いなどがないのだ」と思った。またカンボジアの話も聞き、学校を作ることにより、子どもたちが自分で家を作って、お医者さんしたりと学校によって子ども達から自由をうばったりと学校をつくる事は「けが」良いとは言いきれないと思った。また、今の日本の子どもに足りない事を聞き、自分には子どもがいてきた時には、思う

→自分分自由に遊ばせようと思った。そのための環境作りも大切だ」と思った。小学校の先生となった時には、子ども達が自分の自由に遊んだ、学んだ、できるように、環境を作りたい。

そのために、金森先生が言っていたように、自分をもった先生になりたい。

埼玉大学

私は今回の講演を聞き、幼少期の経験の大切さのことが強く印象に残りました。母親の育て方により子供の今後の行動が変わるということは小、中などの学校でも同じことが言えるのではないかと思います。学校での教育の仕方ですべての生徒の今後の行動が変わり、生きるための知恵を自ら身につけさせることができると思います。金森さんの話の中で、紛争が起きたのは教育が原因だというものを読み、幼い時の教育が、大人になるほど、その根本が反映されるのだと思いました。

また、人生は他人との比較ではないという言葉には、自らを省みることができました。自由の効きにくい日本の社会の中で、いかに自分がやりたいことを見つけ、実行していくというのは、教員となっても重要であり、生徒に教えるのも大事だと思います。

埼玉大学

今回の講演会を聴いて、カンボジアなどの発展途上国の現状を知ることができた。1日1ドルもしくはそれ以下で生活している人達が多いという現状はとても深刻である。そんな中で子供達の教育を充実させることは大変難しい。私はこの講演会を聴く前は、発展途上国の教育を充実させるには学校を建てさえすれば解決されると思っていた。しかし、家と学校の距離が遠すぎてしまう問題や、学校の先生の教える力が低いことなど様々な問題がある。私は発展途上国の教育問題に少し興味があり、自分なりの解決策があったが、考えが浅すぎた。こうい、た問題についての現状をもっと知り、どのようにしたら解決できるかを追究していきたいと思った。